



胃瘻について考えてみよう

2025年 7月 27号 担当：摂食・嚥下認定看護師

皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) とは

お腹と胃をつなぐ小さな穴をつくるための内視鏡手術のことを言います。胃瘻によって適切な栄養管理が可能になると、**体力の維持や生活の質の向上が期待できます**。また、体調が整うことで、食事摂取が可能になる場合もあり、そのような方はいずれ**胃瘻から離脱することも可能**です。ただし、**胃瘻は直接的に寿命を延ばすものではありません**。

胃瘻を造設した患者さんへ ワンポイントアドバイス！！

①体重変化を気にしましょう

栄養評価の一番の目安となるのは体重変化です。体重測定が可能な方は、日ごろから体重の変化を記録することが大事です。

②食事は無理をせず

コツコツ積み重ねていこう

経口摂取を併用している場合、まずは体調を見て摂取量を考えましょう。無理はせず、出来る量で回数を重ねていきましょう。

③排便状態の把握をしましょう

経管栄養は本人の意思とは別に時間で栄養剤を注入してしまうため、便秘があると嘔吐につながる場合があります。そのため排便状況を毎日きちんと観察する必要があります。また、下痢に傾いているときは、栄養剤の投与速度を遅くする、半固形化栄養剤を使用してみるなどの工夫ができます。なにかトラブルがある場合は、かかりつけ医に相談しましょう。

④口腔ケアと嚥下評価の

見なおしをしましょう

口腔ケアは、誤嚥性肺炎を予防するだけではなく、口内環境を維持するために重要なケアです。食べられる量が安定してきたら、食事形態を上げることを検討していきましょう。

**当院では、
嚥下内視鏡検査で食事が安全に食べられるか
在宅での検査も可能**です。

嚥下だけでなく、口腔の問題があれば
ぜひ当院の口腔外科にご相談ください。

⑤家族のかたへ

胃瘻の管理は**家族の協力が不可欠**であり、さまざまな**知識と準備が必要**です。まず重要なのは日常的なケアの方法や緊急時の対応について医療者から十分な説明を受けることです。たとえば、栄養剤の注入方法、カテーテルの管理方法、合併症の早期発見のポイントなどを入院中に学んでおきましょう。また介護保険サービスの利用や医療費の助成制度など利用可能な支援についても事前に確認しておくことをお勧めします。一人で介護を背負おうとせずに、ほかの家族や介護サービスなどの利用も検討してみてください。

次回担当は、皮膚排泄ケア認定看護師 の予定です。

